



SIHD

ミニディスクロージャー誌
2025.9



池田泉州ホールディングス



「お客さまや地域の夢を共に育み、お客さまの夢をかたちにする金融グループ」をめざす



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

本誌にて、池田泉州ホールディングスの2025年度中間期の業績並びに第5次中期経営計画Plusの進捗状況について、お知らせいたします。

今年度、当社グループを取り巻く環境は転換点を迎えております。特に大きな転換点は、超低金利政策の見直しを受けた「金利のある世界」への移行です。超低金利環境下では、融資による収益確保や資金運用は難しい状況でした。金利が上昇局面に転じたことで、金融機関のあり方が問われる局面になったと感じております。

金利上昇は経営にとって一定の追い風となりますが、預金コスト・債券評価損・信用リスクの増加といった新たな課題も顕在化しております。このような経営環境の変化に対して、当社グループにとっての「再成長のチャンス」として活かすためには、一層、経営のかじ取りが重要であると考えます。

このような経営環境の中、当中間期の業績は、連結当期純利益において前年比2億円増加の86億円となりました。預貸金収益が前年比21億円増加となり、政策金利引き上げに伴う貸出金利の増加が寄与しております。2025年度連結当期純利益147億円に対して、順調な業績推移となっております。

さらに、株主還元方針について、2025年度は1株当たり配当金を16円以上とし、機動的な自己株式取得と合わせ、株主還元率40%以上、2026年度以降は利益の成長とともに累進的な配当を行い、配当性向で40%を目安としておりました。昨今の金融機関を取り巻く経営環境や株式市場の変化・株主還元の方針等を総合的に勘案し、1年前倒しする形で、2025年度から配当性向で40%

を目安とすることにいたしました。また、2025年度の1株当たりの年間配当予想も16円から21円に増額しております。

本年5月、2028年度に連結当期純利益220億円・ROE8%を達成するという経営目標を公表しました。〇1銀行は出来て間もない会社であり、本業利益の増強を第1の柱として、2026年度から始まる第6次中期経営計画期間中に一層の増強を図りたいと考えております。

また、第6次中期経営計画に加え、新たに「長期経営戦略」の策定に着手しております。短期・中期の視点に留まらず、10年後のあるべき姿からバックキャストして戦略を構築しております。

最後に、私自身がCEOとして最も大事にしていることをお伝えさせていただきます。それは、当社グループが、
①お客さまの課題に向き合い、アイデアを出し、解決へと導くソリューションパートナーであること
②お客さまや地域の夢を共に育み、お客さまの夢をかたちにする金融グループになっていくこと
でございます。

この2点を忘れずに、地域の皆さまから愛される金融グループを目指して、役職員一同取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2025年11月

取締役代表執行役社長兼CEO

阪口 広一

日本生命保険相互会社との地域のサステナビリティ推進に関するパートナーシップ協定の締結(2025年7月8日)

当社は、日本生命保険と地域のサステナビリティ推進に関するパートナーシップ協定を締結しました。

当社グループは、持続可能な地域社会の実現に貢献するとともに自らの持続的な成長に努めるというサステナビリティ宣言を採択しております。その宣言の趣旨と日本生命グループが目指すサステナビリティ経営の高度化の趣旨との親和性が非常に高く、今回当協定の締結に至りました。

当協定の締結により、今後、日本生命グループと当社グループが持つネットワークやノウハウを相互に生かし、地域のサステナビリティ推進に向けた取り組みを一層進めてまいります。



地域のサステナビリティ推進に関するパートナーシップ協定締結の様子

お客さまの共感を得る新商品取扱開始

寄付型定期預金「こどもの夢応援定期」(2025年8月1日)

本商品は、お客さまからお預かりする預金残高の一定割合を地域のこども支援活動を行う団体等へ池田泉州銀行より年に一回寄付を行うものです。定期預金を通じて、こどもたちの健やかな成長を応援いただけます。



池田泉州サステナブル定期預金(2025年7月1日)

本商品は、外部機関から国際原則・ガイドラインに関する評価や第三者意見を取得しているサステナブルファイナンス等への充実に資金使用を限定した定期預金です。この定期預金を通じて、お客さまは地域の社会的課題や環境問題の解決に向けた取り組みに貢献することができます。



当行は、このような商品の取扱いを通じて、地域のお客さまとともに持続性のある地域社会実現に貢献してまいります。

01銀行株式会社サービス提供開始(2025年7月28日)

01銀行(以下、「01Bank」)がお客さま向けサービスの提供を開始しました。



01銀行開業記者発表会の様子

01Bankは中小事業者、SaaSを通じて中小事業者のビジネスを支援するプラットフォーム(以下、「PFer」)との3者の繋がりを基盤に、「データをベースに時代を先取りするエコシステム」を共創することを目指します。

中小事業者は人手不足、生産性向上、受注・販売拡大等の課題に直面し、SaaSの活用により課題解決に向けた努力をしています。01Bankは、SaaSの利用データ(以下、「PFerデータ」)を信頼性の高い、限りなく「エビデンス」に近いものと考え、PFerと連携することで、

こうした質の高い「データ」から中小事業者のビジネス上の活動実態を的確に把握し、融資審査を行う際に有効に活用してまいります。

具体的には、決算書に基づく過去の実績ではなく、PFerデータに基づく中小事業者の現在の実績を活用して、融資審査を行います。さらにはPFerデータを分析して、事業性評価を行い、結果をお客さまにも提供してまいります。

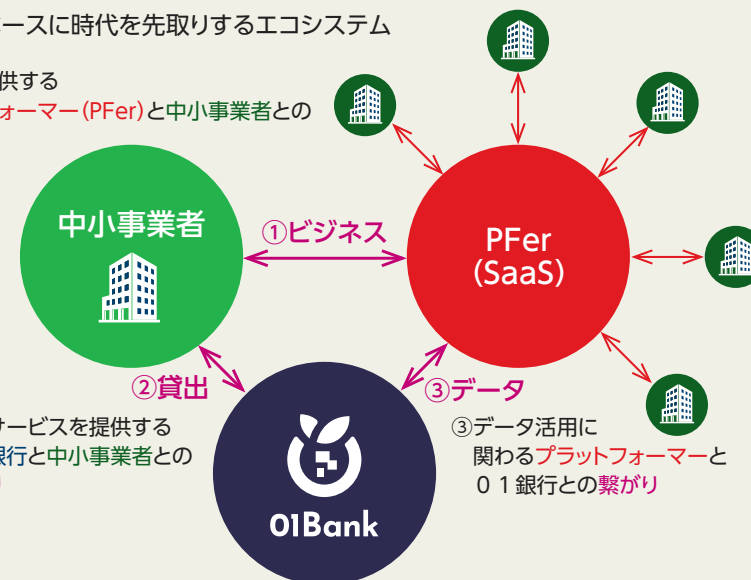
今後は、中小事業者に加え、個人事業主へのサービス提供も検討してまいります。

データをベースに時代を先取りするエコシステム

①SaaSを提供する

プラットフォーム(PFer)と中小事業者との繋がり

②金融サービスを提供する
01銀行と中小事業者との繋がり



01銀行モデルは3つの繋がりを基盤として成り立っている

大阪・関西万博の取り組み

未来を熱く、おいしく、おもしろく。 大阪・関西万博 「大阪超越文化横丁」



当社グループは、大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン内「リボンチャレンジ」ゾーンの運営企業として、地元中小企業・スタートアップ企業32社の出展を支援する「GUTSU GUTSUチャレンジ」を実施してきました。この展示ゾーンを「大阪超越文化横丁」と銘打ち、2025年5月20日～6月9日にかけて、企業がめざす未来の暮らしの実現に向けて開発する技術やサービスの展示を行いました。



Challenge 1 ——— 10社
大阪発!
ワクワクする未来の暮らし
世界一おもしろい都市をめざして



Challenge 2 ——— 11社
共に創ろう、
ヒトとモノとデジタルの未来
デジタル技術で変わる、大阪のモノづくり



Challenge 3 ——— 11社
みんなで描こう、
誰もが暮らしやすい社会
未来の生き方・働き方



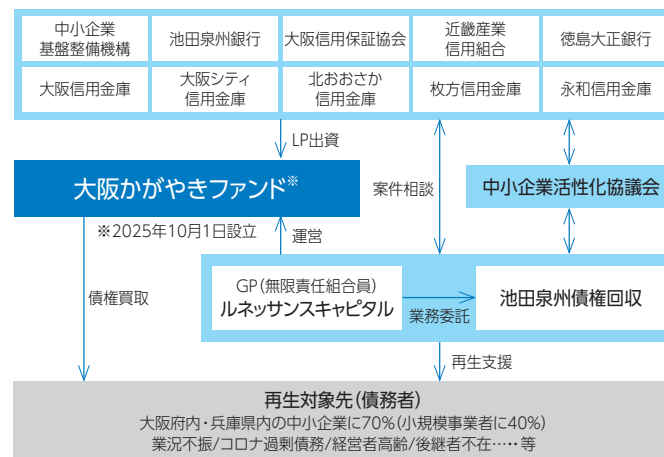
小規模事業者注力型再生ファンド【中小企業再生ファンド】「大阪かがやき投資事業有限責任組合」への出資決定(2025年9月30日)

池田泉州銀行は、ルネッサンスキャピタルが運営する「大阪かがやき投資事業有限責任組合」へ5億円の出資決定を行い、組合契約を締結しました。本ファンドは、過剰債務等により業況は悪化しているものの、本業には相応の収益力があり再生が見込まれる大阪府・兵庫県(及びその近隣地域)の中小企業、特に小規模事業者を中心に、財務改善のための投資と再生支援を行うことを目的としています。

本ファンドは、中小企業を対象とした全国型事業再生ファンドの運営実績を豊富に持つルネッサンスキャピタルと、地元金融機関と強固なネットワークを有する再生系サービスである池田泉州債権回収が、大阪府・兵庫県(及びその近隣地域)の中小企業、特に小規模事業者に対し、中小企業活性化協議会や地域金融機関、信用保証協会と連携し、その状況やニーズに応じた再生支援を行います。両者が協働し双方のノウハウを活用することで、地域経済の活性化や雇用の維持に大きな役割を果たすことを目指してまいります。



設立組合員集会

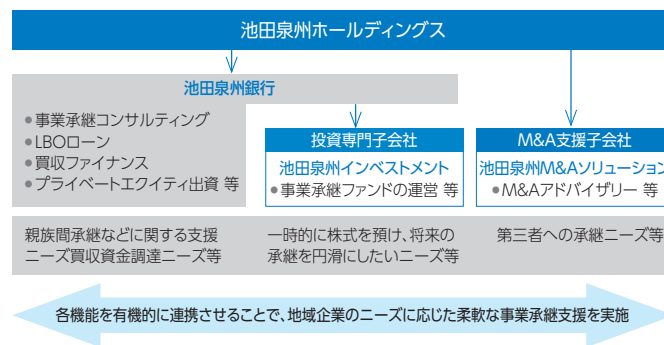


M&A支援子会社及び、投資専門子会社の設立(2026年1月30日予定)

当社は、2025年10月29日、関係当局の認可等を条件に、池田泉州銀行の「M&A支援事業」を会社分割(簡易新設分割)し、新設する「池田泉州M&Aソリューション」に承継するとともに、「池田泉州M&Aソリューション」を当社の100%子会社とすることについて決議しました。

また、同日付で池田泉州銀行の100%子会社として、投資専門子会社である「池田泉州インベストメント」を設立することを決議しました。

中堅・中小企業の後継者不在による廃業リスクに対応するため、M&A支援子会社と事業承継ファンドの運営を担う投資専門子会社を設立し、地域企業の存続と成長、雇用維持を図り、地域経済の活力を守り育むとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

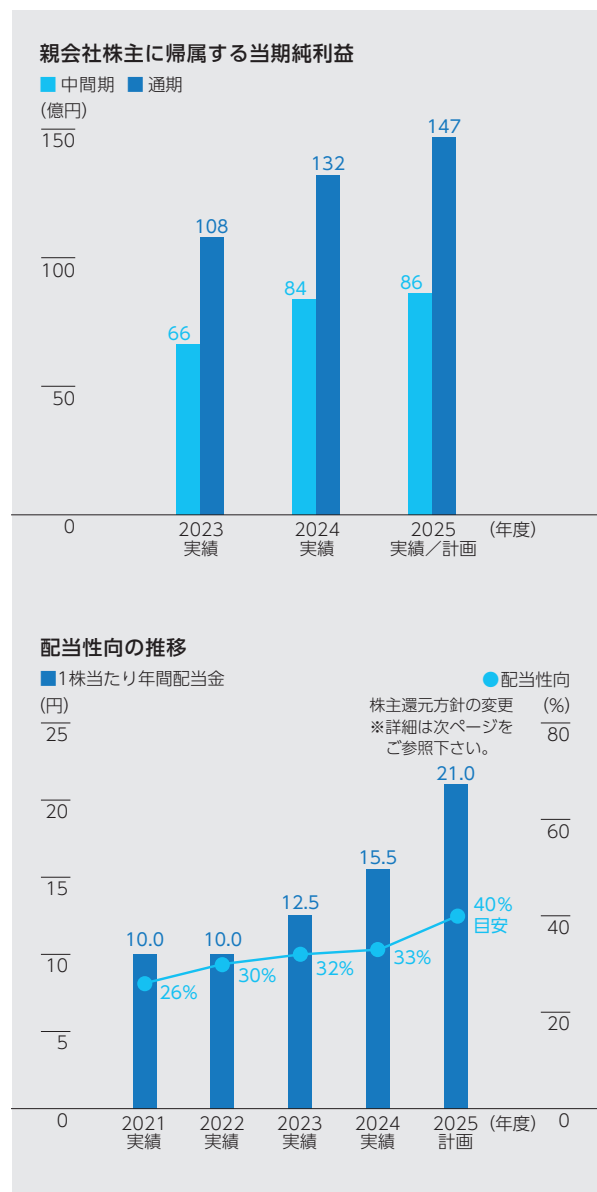




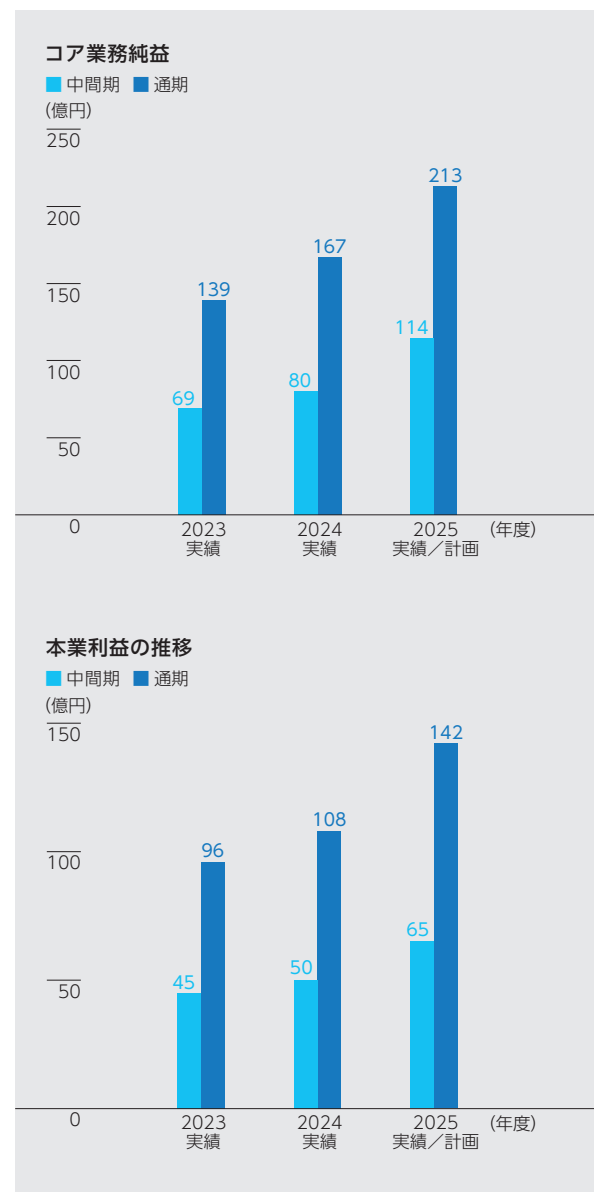
財務・非財務ハイライト

財務ハイライト

池田泉州ホールディングス



池田泉州銀行



非財務ハイライト



株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を、重要な経営課題と位置づけております。

株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動などをご説明し、当社へのご理解を深めていただくとともに、皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、株主優待制度をご用意しております。

地域ブランド発信の想いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の食材や、長い伝統を誇る地場の名品などを多数取り揃えたカタログギフトの中からお選びいただけます。

なお、株主優待制度につきまして、2024年6月より制度の運営を一部変更しております。株主の皆さまの利便性向上とペーパーレス化の促進を目的として、ハガキによる株主優待品申込み手続きを廃止し、株主の皆さま専用のWEBサイトからお申込みをいただける「池田泉州ホールディングス・プレミアム優待倶楽部」を開設しております。

なお、WEB環境をご用意できない株主の皆さまにつきましては、お電話で株主優待をご選択いただけるようにしております。



保有株式数	継続 保有期間	優待内容	
		地域特産品等	
10,000株以上	3年以上	10,000円相当	かつ 株主優待定期預金・金利アップクーポン
	3年未満	5,000円相当	かつ 株主優待定期預金・金利アップクーポン
6,000株以上 10,000株未満	3年以上	5,000円相当	または 株主優待定期預金・金利アップクーポン
	3年未満	3,000円相当	または 株主優待定期預金・金利アップクーポン
2,000株以上 6,000株未満	3年以上	3,000円相当	または 株主優待定期預金・金利アップクーポン
	3年未満	2,000円相当	または 株主優待定期預金・金利アップクーポン

株主懇談会

当社では、株主の皆さまとの対話の場として、株主懇談会を開催しております。

2024年度は2月20日、27日の2回にわけて開催し、425名の株主さまにご参加いただきました。株主懇談会では、近況のご報告・外部講師によるマーケットセミナー・当社グループ役員との懇話を行っております。

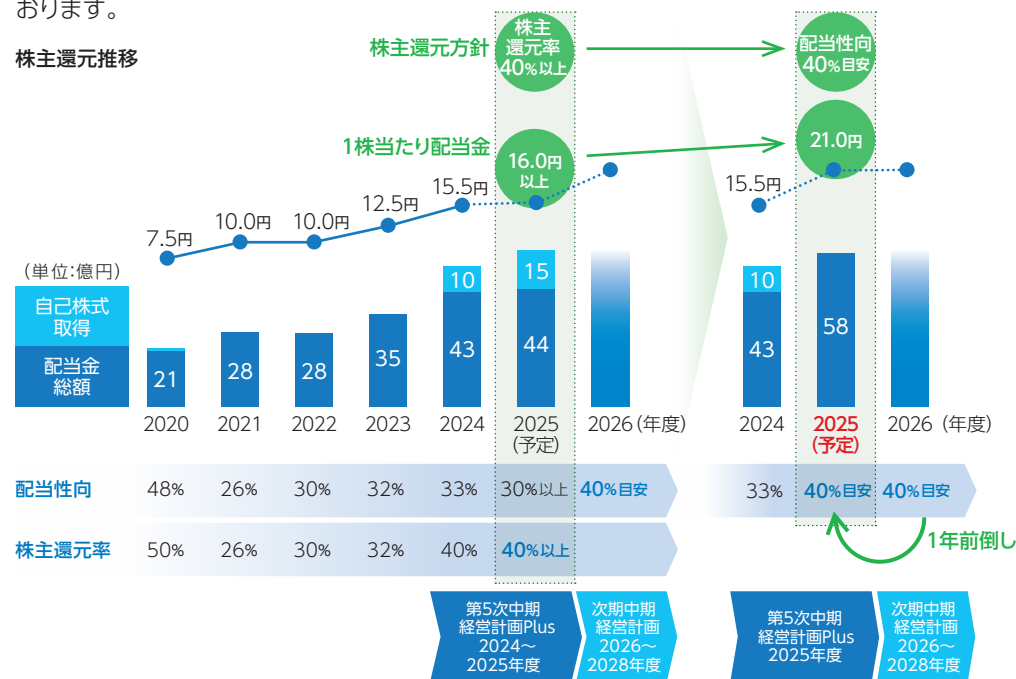
なお、2025年度は2月16日、24日に開催する予定となっております。



株主還元方針の変更について

現中期経営計画期間は「1株当たり配当金16円以上と機動的な自己株式取得で還元率40%以上」、2026年度から始まる次期中期経営計画では「配当性向40%を目安」としておりましたが、今回自社株式取得を配当に振り替えることにより、株主還元方針を1年前倒しで変更しました。以上を踏まえ、2025年度の1株当たりの配当金16円以上を21円としております。

株主還元推移



会社概要

池田泉州ホールディングス

- 設立日: 2009年10月1日
- 本社所在地: 大阪市北区茶屋町18番14号
- 資本金: 1,029億円
- 従業員数: 172名
- 上場取引所: 東京証券取引所

(2025年9月末日現在)